

発達障害者支援センター「きらり」活動報告（概要）

1 令和5年度発達障害者支援センター「きらり」主な事業実施報告

(1) 相談件数

相談内容		令和5年度（人）
相談支援	実人数	641
	延件数	1,174
発達支援	実人数	1,219
	延件数	2,301
就労支援	実人数	141
	延件数	452
合 計	実人数	2,001
	延件数	3,927

① 相談支援：②③を除く相談 ②発達支援：発達障がいに関する相談 ③就労支援：就労に関する相談やその他相談

- 相談支援では、医療機関や福祉サービスの利用について、具体的な相談を希望する方が増えている。発達支援では中学校や高校等への進学の際の引き継ぎなどの相談が増えている。成人期支援においては困難化しているケースについて、他機関と連携をしながら支援を進めていくことに力を入れた。

(2) 家族支援・支援体制サポート強化事業

巡回支援専門員（支援サポートコーチ）によるこども園等巡回相談、支援

巡回先	箇所数	回 数
認定こども園（公立）	8	32
私立保育園	14	54
私立幼稚園	1	4
小規模保育所	8	30
小中学校（公立）	18	71
高等学校（公立）	6	24
福祉事業所、企業等	3	8
合 計	58	223

- 高等学校への支援において、高校の教員から少しずつ「個別の教育支援計画」「サポートファイル」を入学時に高校に提出する生徒（保護者）が見られるようになってきているというお話があったため、高校で引き継がれた支援計画をどのように活用していくかを事例検討会の中心的な課題のひとつとすることができた。

(3) ペアレントメンター（※）の育成

ペアレントメンター研修修了者数 18人 総認定者数 108人（H22年度～）

※障がいのある子の保護者等をペアレントメンターとして育成。保護者の立場になって相談に応じる。

- ペアレントメンター事業として、「にじいろ子育てハンドブック第1巻」を発行した。本小冊子を活用することで、個別相談や茶話会でも相談時の年齢だけではなく、少し先の見通しをもった情報提供ができるようになり、相談された保護者からも満足度が高い感想をいただいている。